

# 淡路島訪日外国人 動態調査レポート

2020年9月15日

NTTタウンページ株式会社

## 調査概要

訪日外国人旅行者の季節、国籍別(旅行客、日帰り数、宿泊客)の把握、平均訪問滞在日数、全国における順位、入・出国空港・港別の旅行客数、他旅行先別の分析、他都市との周遊関連性分析、淡路島内での分布分析、更に、淡路島の 1km メッシュ内の訪日外国人数・属性と施設情報との相関関係を考察

### <調査方法>

「モバイル空間統計®」のビッグデータを使用

※株式会社 NTT ドコモおよび株式会社ドコモ・インサイトマーケティングが提供する統計データ

※モバイル空間統計は NTT ドコモの登録商標です

### <調査対象者>

淡路島に來訪する訪日外国人

### <調査対象期間>

2018 年 12 月～2019 年 11 月【季節×4 回】

(冬)2018 年 11 月～2019 年 2 月 (春)2019 年 3 月～5 月

(夏)2019 年 6 月～8 月 (秋)2019 年 9 月～11 月

### <訪日外国人の統計処理>>

海外契約されたローミング端末をサンプルとし拡大統計

法務省から毎月発表される国籍別訪日外国人数（入出国管理統計）に一致するように拡大推計 ⇒ 海外契約のローミング端末をサンプルに、法務省の「入出国管理統計」で拡大処理しているため在日外国人は含まない

24 時間以上 90 日以内、日本に滞在している端末を訪日外国人のサンプルとして集計

・入国場所が特定できる（最初の信号が空港/港近辺で補足されている）

・出国場所が特定できる（最後の信号が空港/港近辺で補足されている）

### <外国人観光客の定義>

旅行客数：2 時間以上滞在した人数(※メッシュ内滞在は 1 時間以上滞在した人数)

宿泊客数：2 時から 5 時（深夜帯）に 2 時間以上滞在した人数(※メッシュ内滞在は 1 時間以上滞在した人数)

日帰り客数：旅行客数－宿泊客数で算出

### <進化版タウンページデータベースについて>

NTT 東日本・NTT 西日本が発行する職業別電話帳（タウンページ）に掲載される情報をデータ化した商品

全国約 822 万件\*の店舗・施設情報を約 1,900 の業種に分類 \*TP 社独自 DB も含む

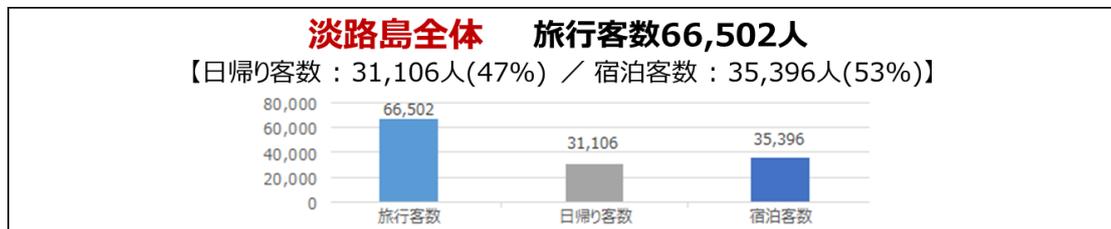
### <タウンページデベス ×モバイル空間統計について>

淡路島の「分布分析」において、1km メッシュ内の観光客数・属性とタウンページデータベースの施設情報の相関関係を考察致します

## 調査結果（抜粋）

### （1）淡路島全体

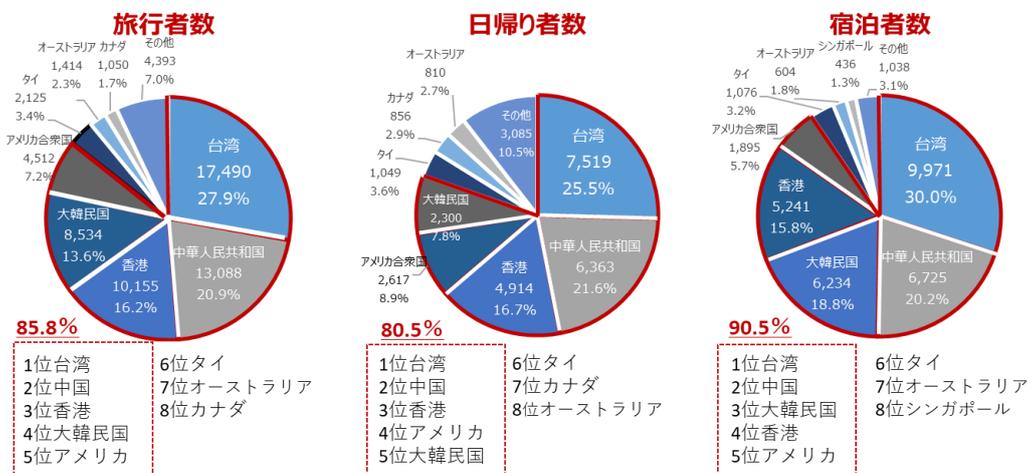
#### ① 旅行者数・日帰り客数・宿泊客数



市	季節	1位		2位		3位	
		旅行者数(人)	比率	日帰り客数(人)	比率	宿泊客数(人)	比率
淡路市	2018年冬	4,129	33.6%	2,673	58.7%	1,456	18.9%
	2019年春	6,989	38.9%	5,460	68.4%	1,529	15.3%
	2019年夏	10,478	56.7%	7,609	75.0%	2,869	34.4%
	2019年秋	8,250	46.4%	5,759	68.4%	2,491	26.7%
	合計	29,846	44.9%	21,501	69.1%	8,345	23.6%
洲本市	2018年冬	3,349	27.3%	758	16.6%	2,591	33.5%
	2019年春	4,204	23.4%	1,154	14.5%	3,050	30.5%
	2019年夏	4,000	21.6%	1,009	9.9%	2,991	35.9%
	2019年秋	4,185	23.6%	1,226	14.6%	2,959	31.7%
	合計	15,738	23.7%	4,147	13.3%	11,591	32.7%
南あわじ市	2018年冬	4,803	39.1%	1,126	24.7%	3,677	47.6%
	2019年春	6,776	37.7%	1,367	17.1%	5,409	54.2%
	2019年夏	4,008	21.7%	1,527	15.1%	2,481	29.7%
	2019年秋	5,331	30.0%	1,438	17.1%	3,893	41.7%
	合計	20,918	31.4%	5,458	17.6%	15,460	43.7%
<b>総合計</b>		<b>66,502</b>	<b>100%</b>	<b>31,106</b>	<b>46.8%</b>	<b>35,396</b>	<b>53.2%</b>

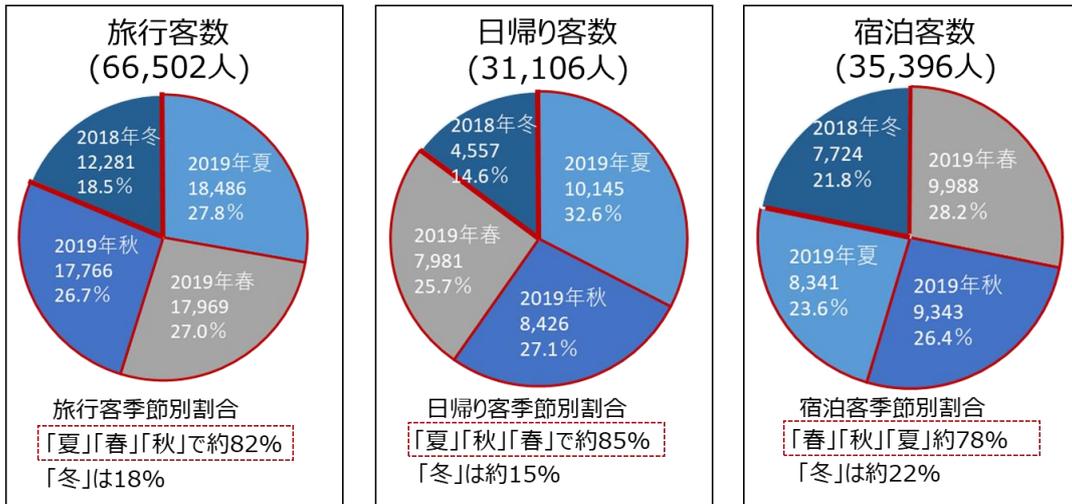
#### ②-1 旅行者数・日帰り客数・宿泊客数【国籍別】

「旅行者」「日帰り客」「宿泊客」の全項目において「1位台湾」「2位中国」であった  
 3位～5位は「香港、韓国、米国」が混在しており、6位以降は「タイ、オーストラリア、カナダ」と続いている



「旅行者」「日帰り客」「宿泊客」の居住国調査の結果

②-2 旅行客数・日帰り客数・宿泊客数 『淡路島全体 季節別』



③平均訪問滞在日数【全体】

平均滞在日数は 1.8~1.9 日の為、1泊~2泊で宿泊する傾向

韓国の年間平均滞在日数は「2.3日」で 1位

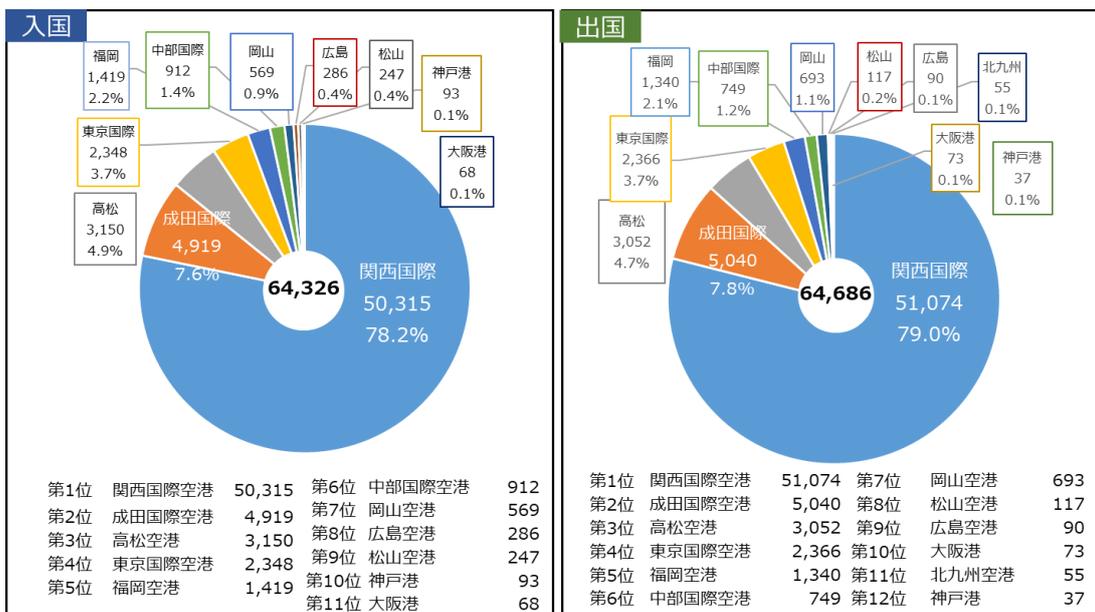
韓国の年間宿泊率は 73% (宿泊者 6,234人 ÷ 旅行者 8,534人)

台湾は、旅行客数は 1位であるが滞在日数は少なく、年間平均滞在日数は「1.7日」

④-1 入出国空港・港別の旅行客数【年間】

淡路島を訪れる旅行客の約 80% は関西国際空港から入出国している関西国際空港と旅行客数上位国である台湾・中国・香港・韓国とは直行便が就航している

次に成田空港、高松空港、東京国際、福岡空港、中部国際、岡山空港、広島空港、松山空港から入出国している また大阪港・神戸港から旅客航路船による入出国



#### ④-2 淡路島への来訪国の就航状況

・淡路島に来訪する約 8 割が関西国際空港から入出国淡路島へ来訪している 21 カ国の内 16 カ国との直行便が就航

・淡路島に来訪する旅行者 1 位の台湾は国内の主要な空港との直行便が就航している

・高松空港、福岡空港、岡山空港は、上位 4 カ国(台湾、中国、香港、韓国)との直行便が就航している

・韓国は国際就航路線をほぼ網羅(広島空港除く)している為、淡路島内への誘引施策の推進は有効だと考察

#### ⑤ 他旅行先別の旅行者数 総数【年間】

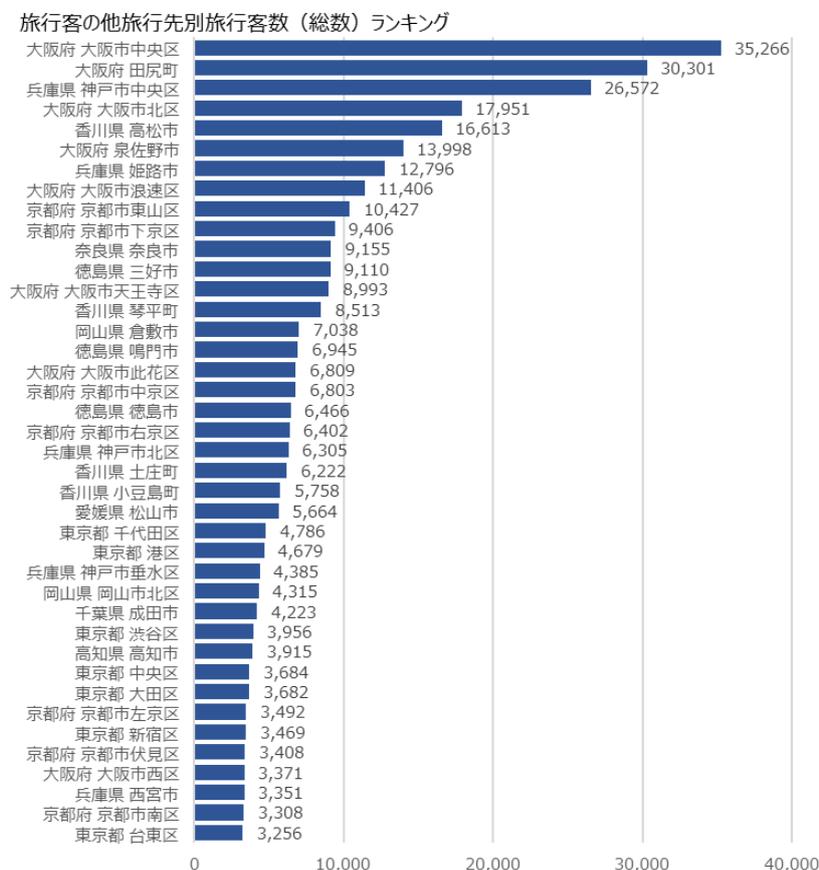
・淡路島を訪れた旅行者は 他にどの地域を訪れているかを分析した結果、大阪市中央区が年間通してトップ

・2 位は田尻町で、年間通して大阪、神戸、京都、香川、徳島に集中している

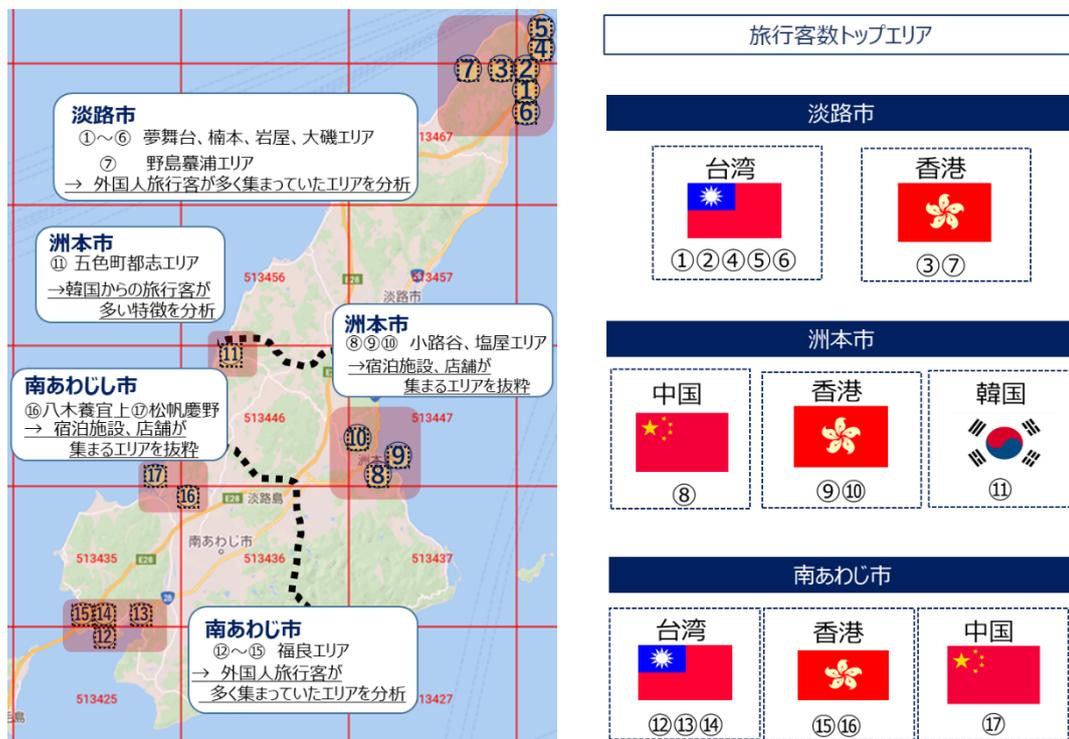
・1 位の大阪市中央区には、免税店が多い心齋橋や黒門市場、難波、さらに大阪城などが存在する

・2 位の田尻町には関西国際空港がある

・3 位の神戸市中央区には、三宮、神戸ハーバーランド、北野異人館などの観光スポットが存在



## ⑥タウンページデータベースの施設情報との相関関係



### 【淡路市夢舞台】

- ・訪日外国人の人気のエリア  
(台湾/46%、中国/18%、香港/16%、韓国/11%、米/5%、その他/4%)
- ・淡路市夢舞台のメッシュでは、旅行者・宿泊客ともに淡路島内でトップとなっている
- ・旅行者は、季節で見ると、「夏/30%」「秋/28%」「春/26%」「冬/16%」の割合で訪れている
- ・国籍別に見ると、台湾は年間を通して旅行者(46%)・宿泊客(62%)ともにトップ
- ・施設情報から、植物園「淡路夢舞台温室」があり、隣接するメッシュに総合リゾート施設、「淡路夢舞台」があり、「淡路大磯アート美術館」「国際会議場」等もある
- ・宿泊施設としてウェスティンホテル淡路がある
- ・リゾートホテルやレストラン＆ショップのほか、奇跡の星の植物園などがある近未来的な複合施設が魅力的な観光資源となっていることから旅行者、宿泊客が多いと考察

### 【洲本市小路谷】

- ・小路谷のメッシュには旅行者が「春/28%」「秋/24%」「冬/24%」「夏/21%」の割合で4シーズン平均し訪れている
- ・国籍で見ると、「中国/34%」「香港/33%」「台湾/14%」「米国/10%」「韓国/9%」の順で来訪している

- ・中国からの旅行者、宿泊客ともにトップであり、季節も4シーズン訪れている  
このメッシュでの宿泊率は、65.5%
- ・施設情報から隣接メッシュに「サントピアリーナ」や宿泊施設で紀淡海峡を一望するオーシャンビューのホテル「淡路インターナショナルホテルザ・サンプラザ」や旅のニーズに合わせた多彩な客室が揃う「海のホテル島花」、グループホテルの3つの湯処をめぐり2つの源泉を楽しめる「淡路夢泉景」、「錦翠閣」等の保養所など5施設があることから宿泊客が多いと考察

### 【南あわじ市福良】

- ・旅行者は、淡路島で2番目に多い
- ・宿泊客2,040名では、3市の中でトップ
- ・福良のメッシュには旅行者が「春/37%」「冬/26%」「秋/24%」「夏/16%」の割合で訪れている  
季節で見ると夏の旅行者は比較的少ない
- ・国籍で見ると、「台湾/41%」「韓国/30%」「中国/16%」「香港/13%」「シンガポール/0.7%」の順 台湾・韓国で約7割を占める
- ・「台湾」からの旅行者がトップであり、季節も4シーズン訪れている
- ・施設情報から、宿泊施設は「Hotel&ResortsMINAMIWAJJI」、「休暇村南淡路」などがある

## 調査結果（サマリー）

### 【淡路島 全体】

- ◆淡路島全体としては、旅行者66,502人 日帰り客31,106人(47%) 宿泊客35,396人(宿泊率53%)であり、国別で見ると台湾が旅行者、宿泊客共にトップであった
- ◆訪日外国人上位4か国〔台湾・中国・香港・韓国〕における来訪シェアが約74%あり、上位4か国が淡路島への観光事業に寄与している
- ◆淡路島での平均訪問滞在日数では、季節に偏りはなく1.8日~1.9日となっている旅行者トップの台湾が滞在日数(1.7日)でやや少ない
- ◆国籍・地域によって特徴的な動態を示す結果となった 淡路島を訪れる訪日外国人の約80%が関西国際空港から入国し、出国も同様である関西国際空港は、淡路島に来訪している16か国との直行便が就航している(\*淡路島には、21か国から来訪)
- ◆高松空港、岡山空港、福岡空港は、上位4か国との直行便が就航しているので、高松空港、岡山空港、福岡空港から入国した訪日外国人に対し、淡路島旅行の更なる誘引施策の強化が重要になると考えます[\*上位4か国/台湾・中国・香港・韓国]
- ◆島内の分布分析を見ると、淡路島の中でも、淡路市の夢舞台周辺や楠本、洲本市の塩屋、小路谷周辺、南あわじ市の福良周辺に旅行者・宿泊客が多く来訪していることがわかる

### 【淡路島 3市】

- ◆淡路市は旅行客が3市中トップだが、宿泊客が3位であり、日帰り客が多く、特に夏・秋に来訪者が多い傾向であった
- ◆洲本市は年間を通して旅行客や宿泊客が平準化しているが、淡路島に一番多く来訪している台湾旅行客が、極端に少ない(約10%)
- ◆南あわじ市は宿泊客が3市中トップで、春に来訪者が多い

### 総括

国籍・地域によって特徴的な動態を示す結果となりました今後これらの国籍別の特徴や趣味嗜好等に合わせ、淡路島内をより周遊させる施策や 滞在型観光の素材の発掘・開発、他都市との周遊プランの強化、また、より効果的な情報発信などを推進するとともに、今回実施した動態調査の次ステップとして、マクロ分析で注目したエリア、事象に対しより詳細な分析を可能とする GPS データ、クレジットカード決済データ、SNS 解析データ等を活用し、注目地点の時間的推移や、外部データの活用(イベント情報、天候、訪日外国人消費動向)、更には、観光客の周辺ビジネスサービス産業(観光・商業・宿泊)と連携し、マーケティングデータを収集・分析し更に深堀することで淡路島の地域経済活性化に向けた次なる戦略につなげていくことが重要と考えます